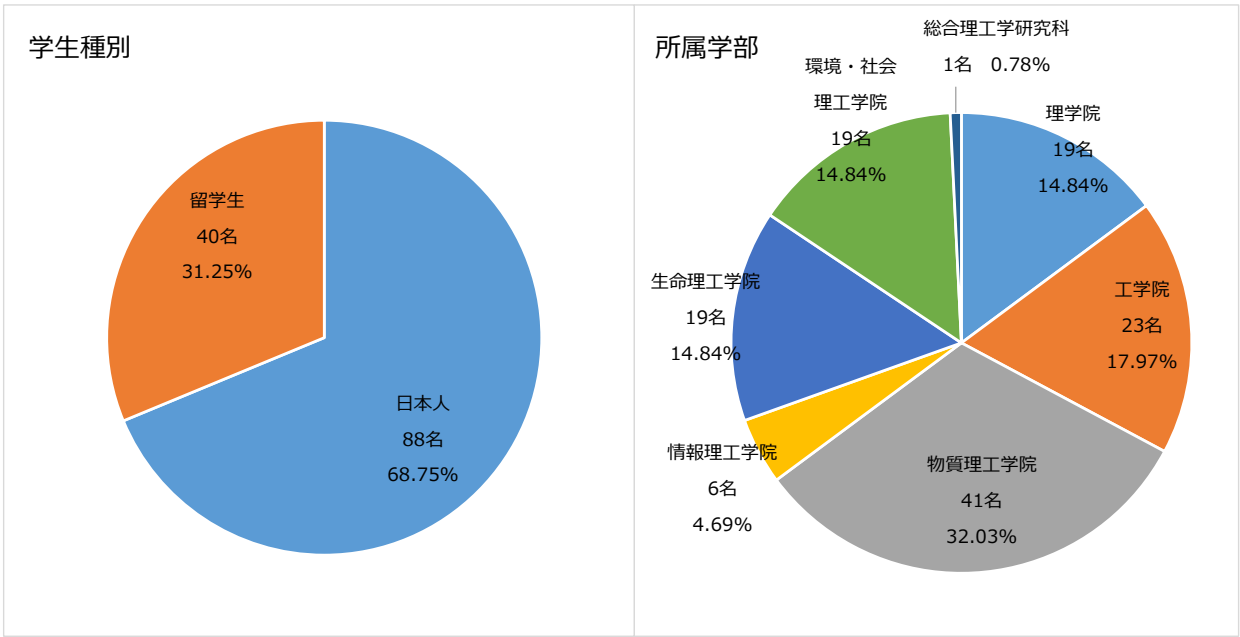


令和5年度 教育改善に関するアンケート〈博士後期課程〉

基本統計量

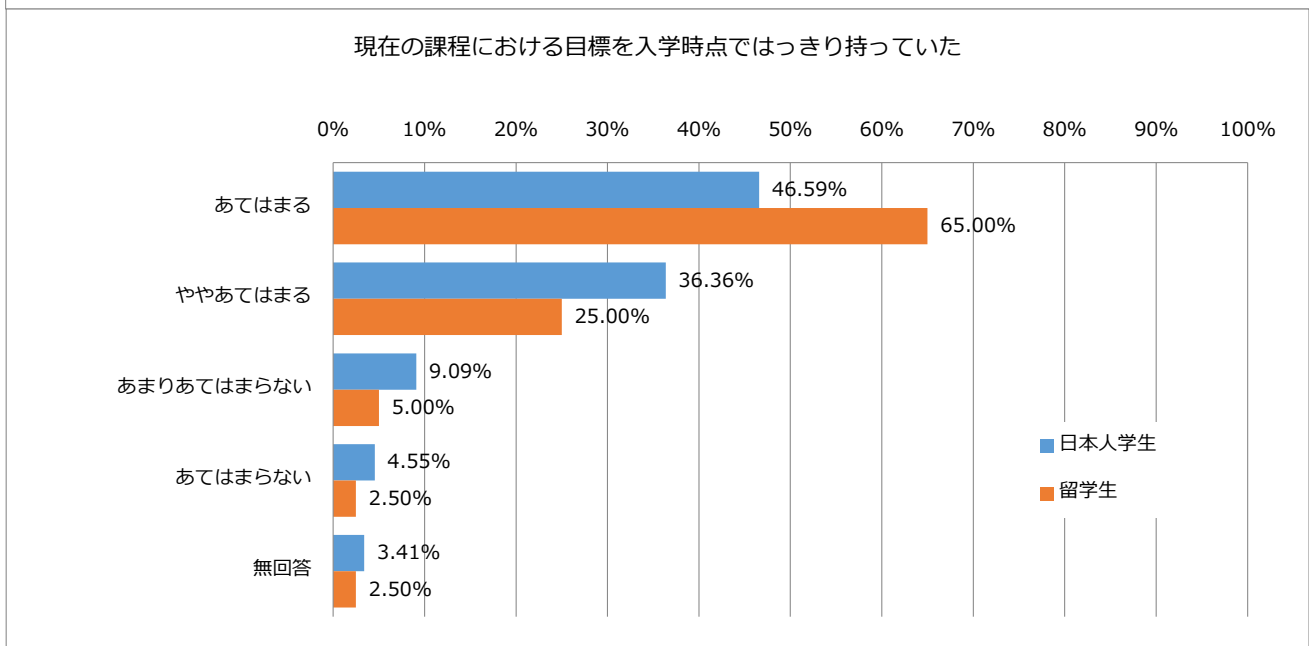
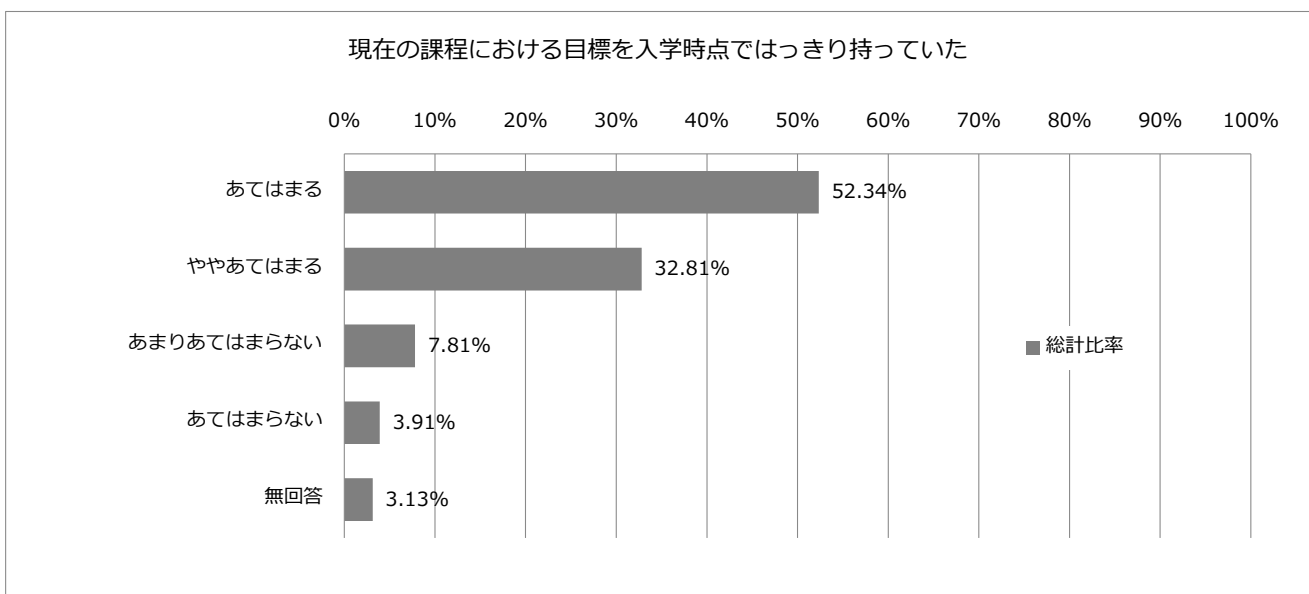


学生種別	人数	割合
日本人	88	68.75%
留学生	40	31.25%
総計	128	100.00%

部局	人数	割合
理学院	19	14.84%
工学院	23	17.97%
物質理工学院	41	32.03%
情報理工学院	6	4.69%
生命理工学院	19	14.84%
環境・社会理工学院	19	14.84%
総合理工学研究科	1	0.78%
総計	128	100.00%

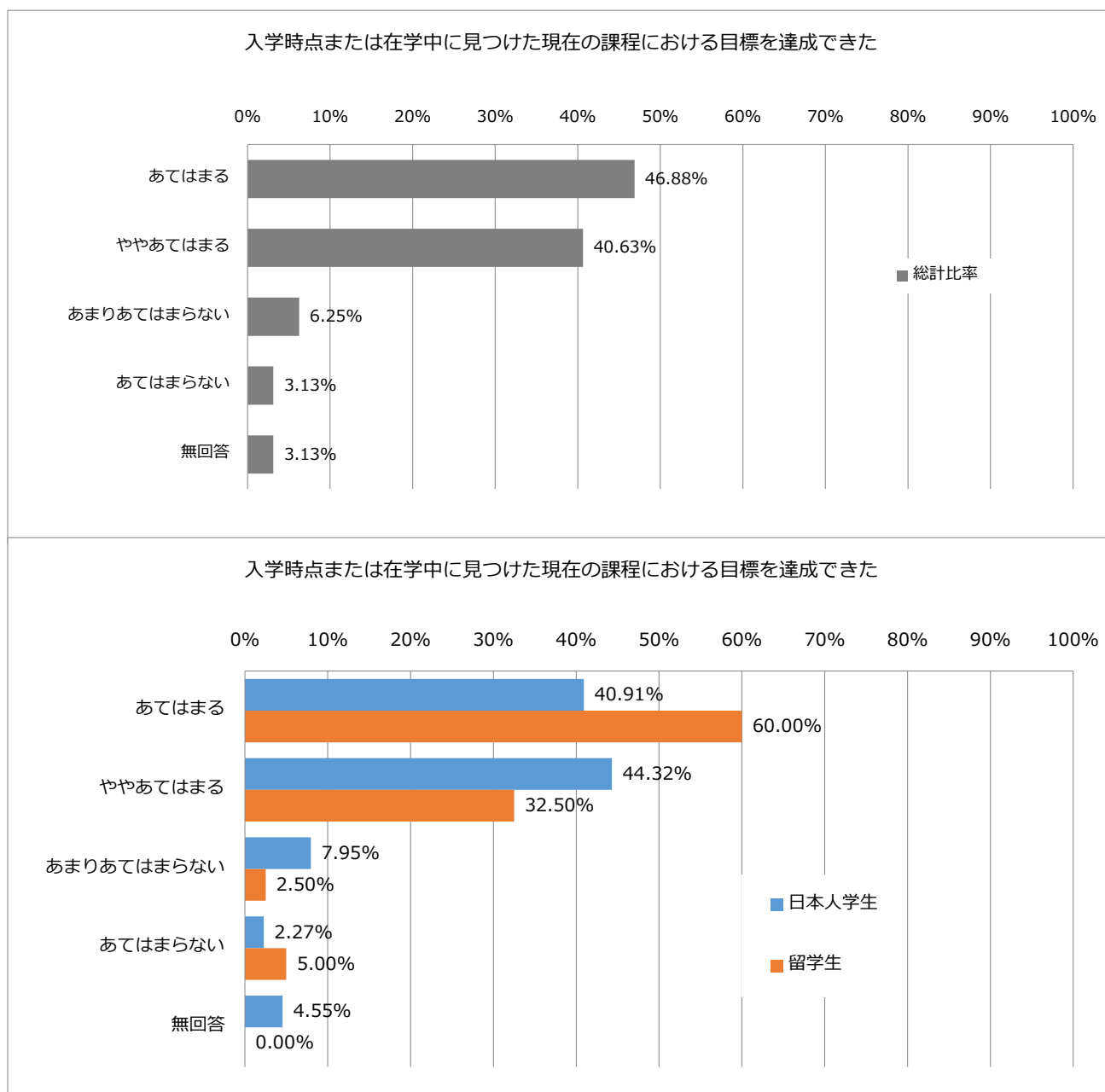
問1. 課程における目標について

1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた



問1. 課程における目標について

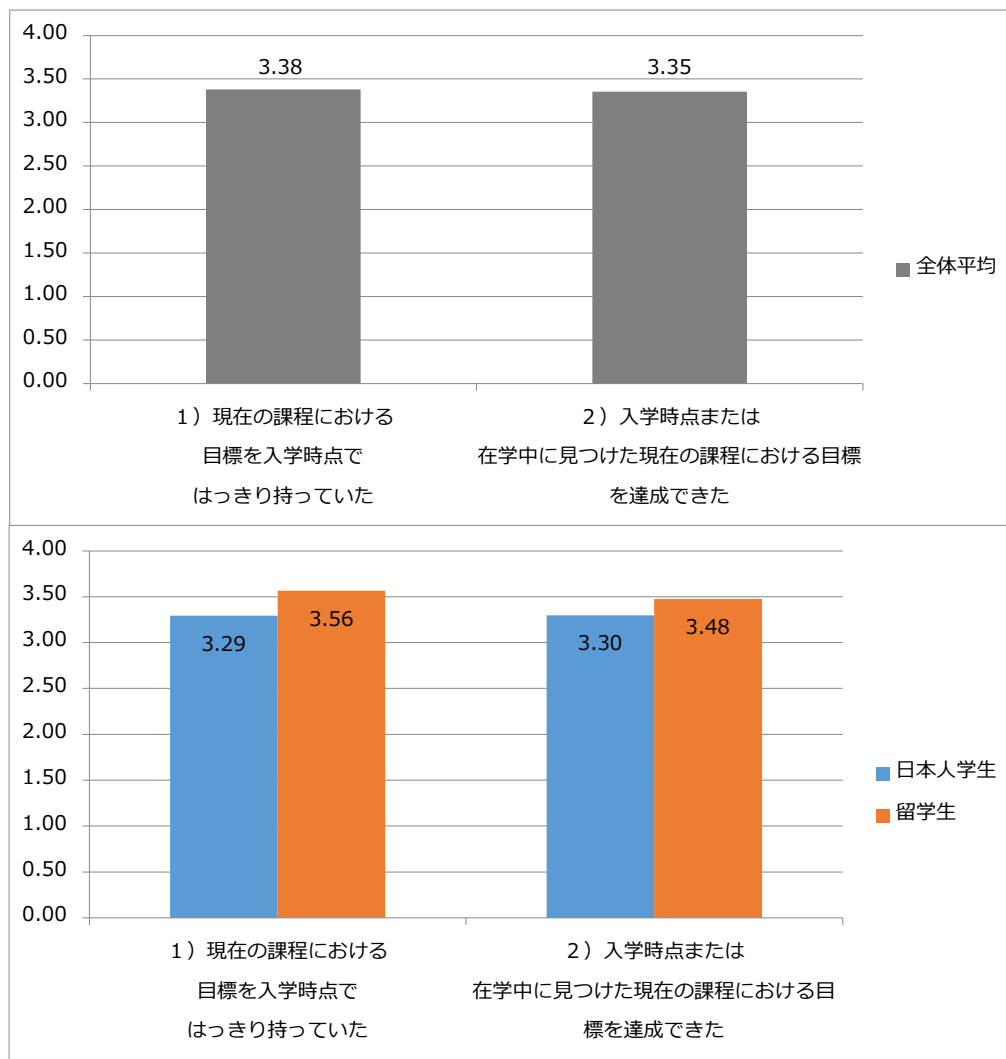
2) 入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた



問1. 課程における目標について

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた	3.38	3.29	3.56
2) 入学時点または 在学中に見つけた現在の課程における目標を達成できた	3.35	3.30	3.48

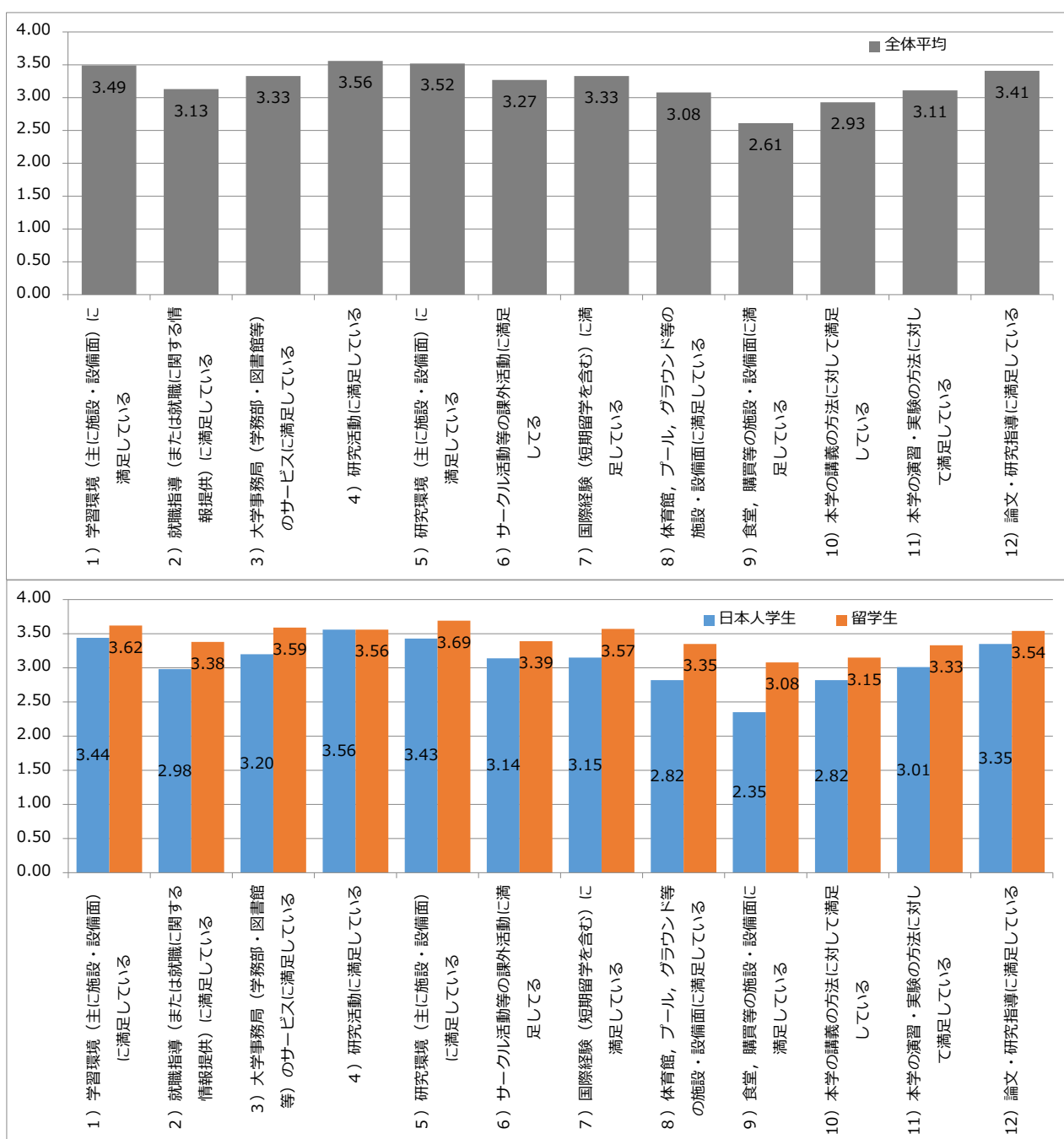
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問2. 本学での学生生活における環境・教育について

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 学習環境（主に施設・設備面）に満足している	3.49	3.44	3.62
2) 就職指導（または就職に関する情報提供）に満足している	3.13	2.98	3.38
3) 大学事務局（学務部・図書館等）のサービスに満足している	3.33	3.20	3.59
4) 研究活動に満足している	3.56	3.56	3.56
5) 研究環境（主に施設・設備面）に満足している	3.52	3.43	3.69
6) サークル活動等の課外活動に満足している	3.27	3.14	3.39
7) 国際経験（短期留学を含む）に満足している	3.33	3.15	3.57
8) 体育館、プール、グラウンド等の施設・設備面に満足している	3.08	2.82	3.35
9) 食堂、購買等の施設・設備面に満足している	2.61	2.35	3.08
10) 本学の講義の方法に対して満足している	2.93	2.82	3.15
11) 本学の演習・実験の方法に対して満足している	3.11	3.01	3.33
12) 論文・研究指導に満足している	3.41	3.35	3.54

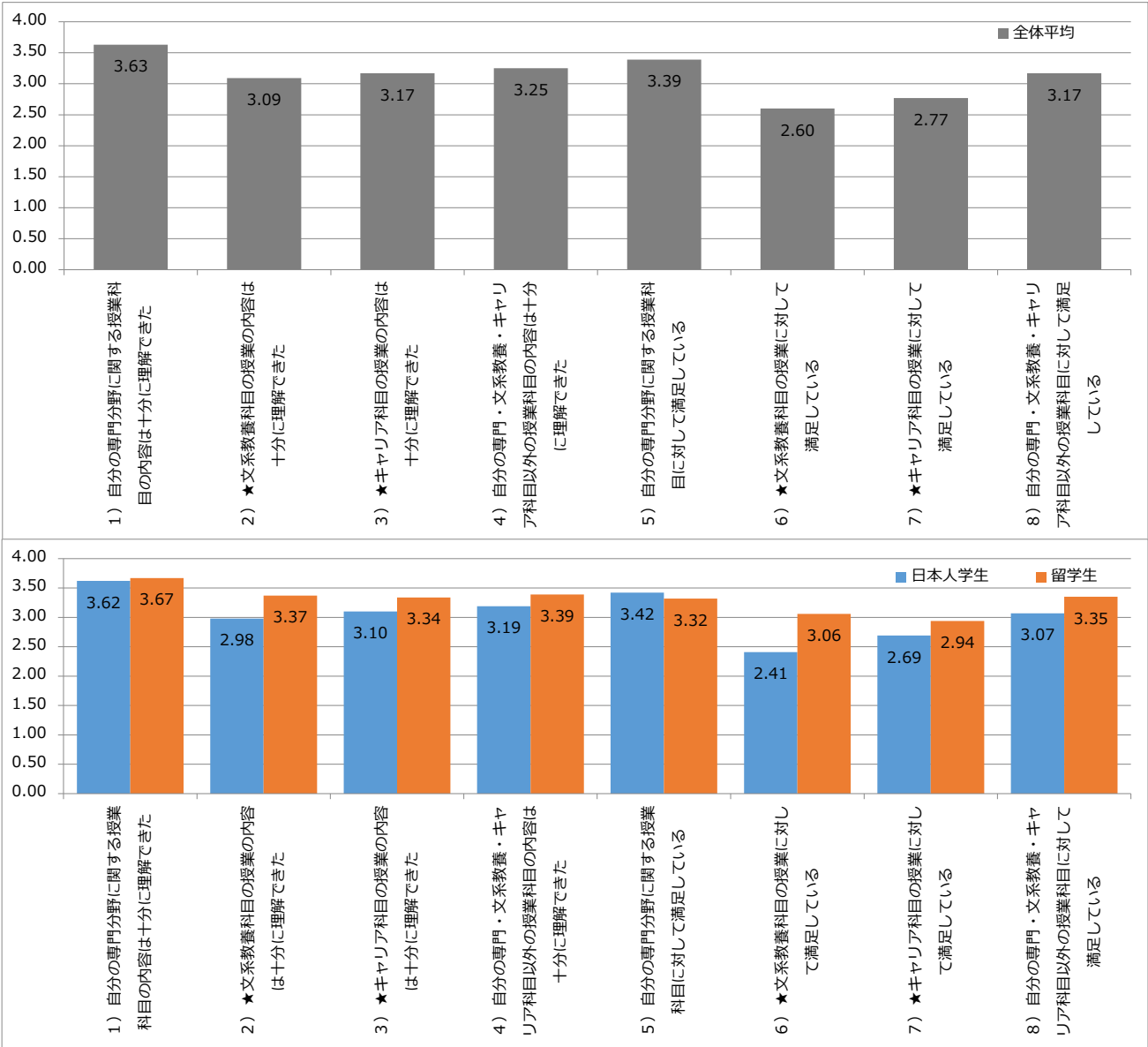
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問3. 教育について ※平成28年度以降入学の方は★を付した質問項目には「履修していない」以外を選択してください

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自分の専門分野に関する授業科目の内容は十分に理解できた	3.63	3.62	3.67
2) ★文系教養科目の授業の内容は十分に理解できた	3.09	2.98	3.37
3) ★キャリア科目の授業の内容は十分に理解できた	3.17	3.10	3.34
4) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目の内容は十分に理解できた	3.25	3.19	3.39
5) 自分の専門分野に関する授業科目に対して満足している	3.39	3.42	3.32
6) ★文系教養科目の授業に対して満足している	2.60	2.41	3.06
7) ★キャリア科目の授業に対して満足している	2.77	2.69	2.94
8) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目に対して満足している	3.17	3.07	3.35

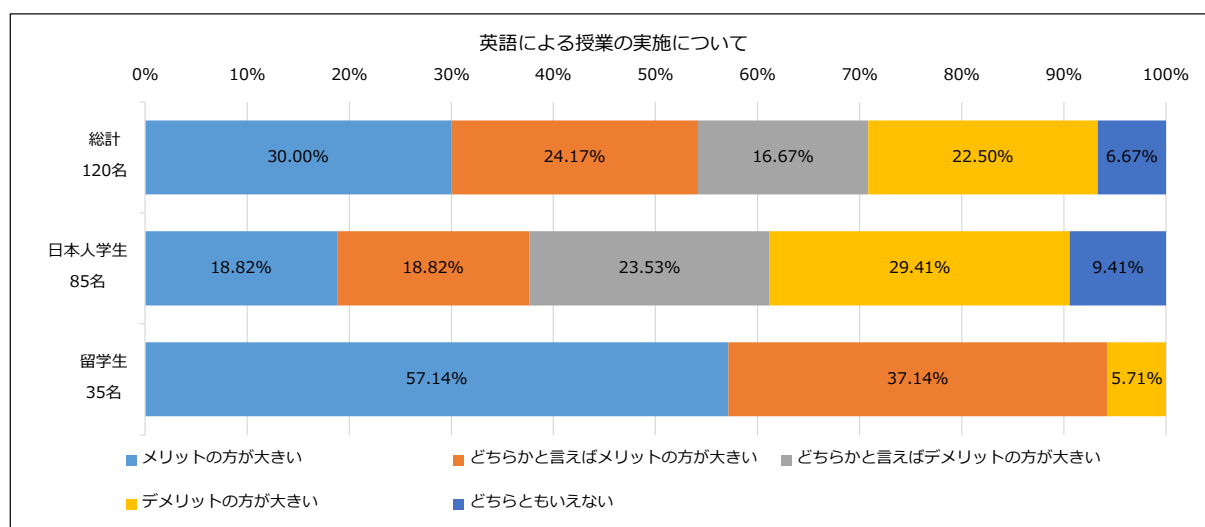
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問4. 英語による授業の実施について

1) 大学院における英語での授業実施は、今後のグローバル化を見据えた学修というメリットがある一方で、授業の内容が理解しにくくなるというデメリットがありますが、ご自身にとって、英語による授業実施はメリットとデメリットのどちらが大きかったと思いますか。

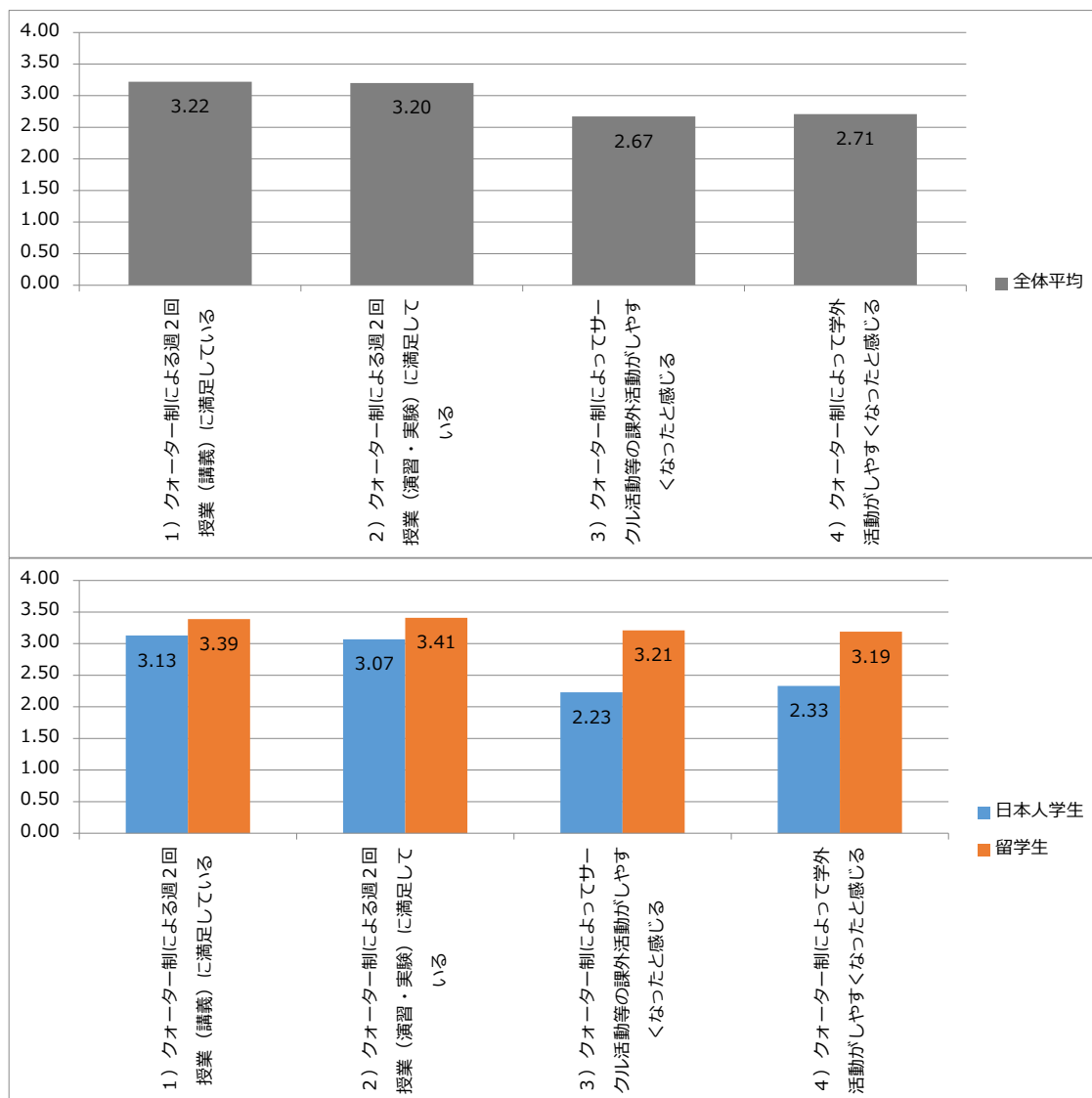
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
メリットの方が大きい	36名	30.00%	16名	18.82%	20名	57.14%
どちらかと言えばメリットの方が大きい	29名	24.17%	16名	18.82%	13名	37.14%
どちらかと言えばデメリットの方が大きい	20名	16.67%	20名	23.53%	0名	0.00%
デメリットの方が大きい	27名	22.50%	25名	29.41%	2名	5.71%
どちらともいえない	8名	6.67%	8名	9.41%	0名	0.00%
回答者計	120名	100.00%	85名	100.00%	35名	100.00%
無回答	8名		3名		5名	



問5. クォーター制及び学外活動に関して

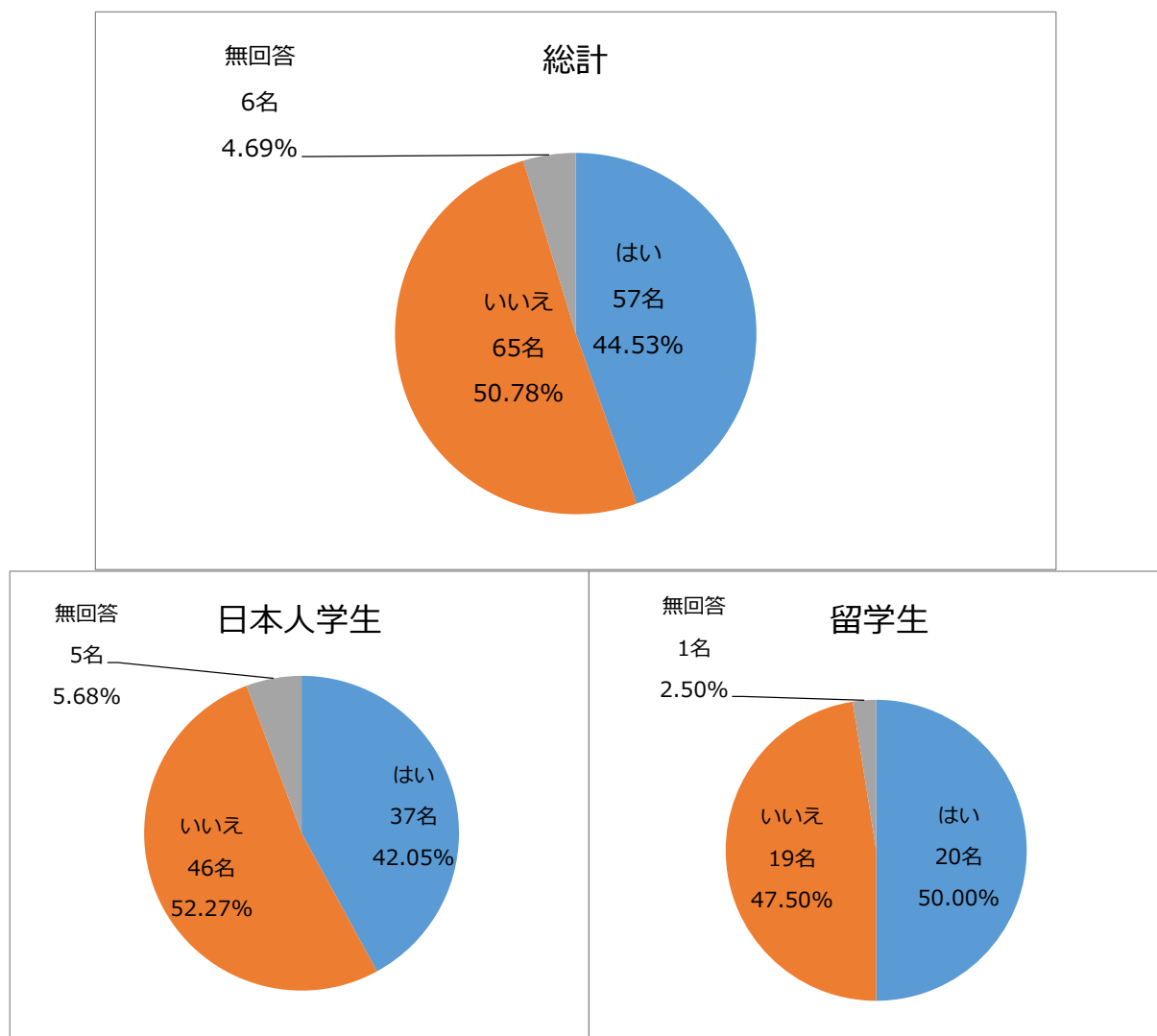
設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) クォーター制による週2回授業（講義）に満足している	3.22	3.13	3.39
2) クォーター制による週2回授業（演習・実験）に満足している	3.20	3.07	3.41
3) クォーター制によってサークル活動等の課外活動がしやすくなったと感じる	2.67	2.23	3.21
4) クォーター制によって学外活動がしやすくなったと感じる	2.71	2.33	3.19

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



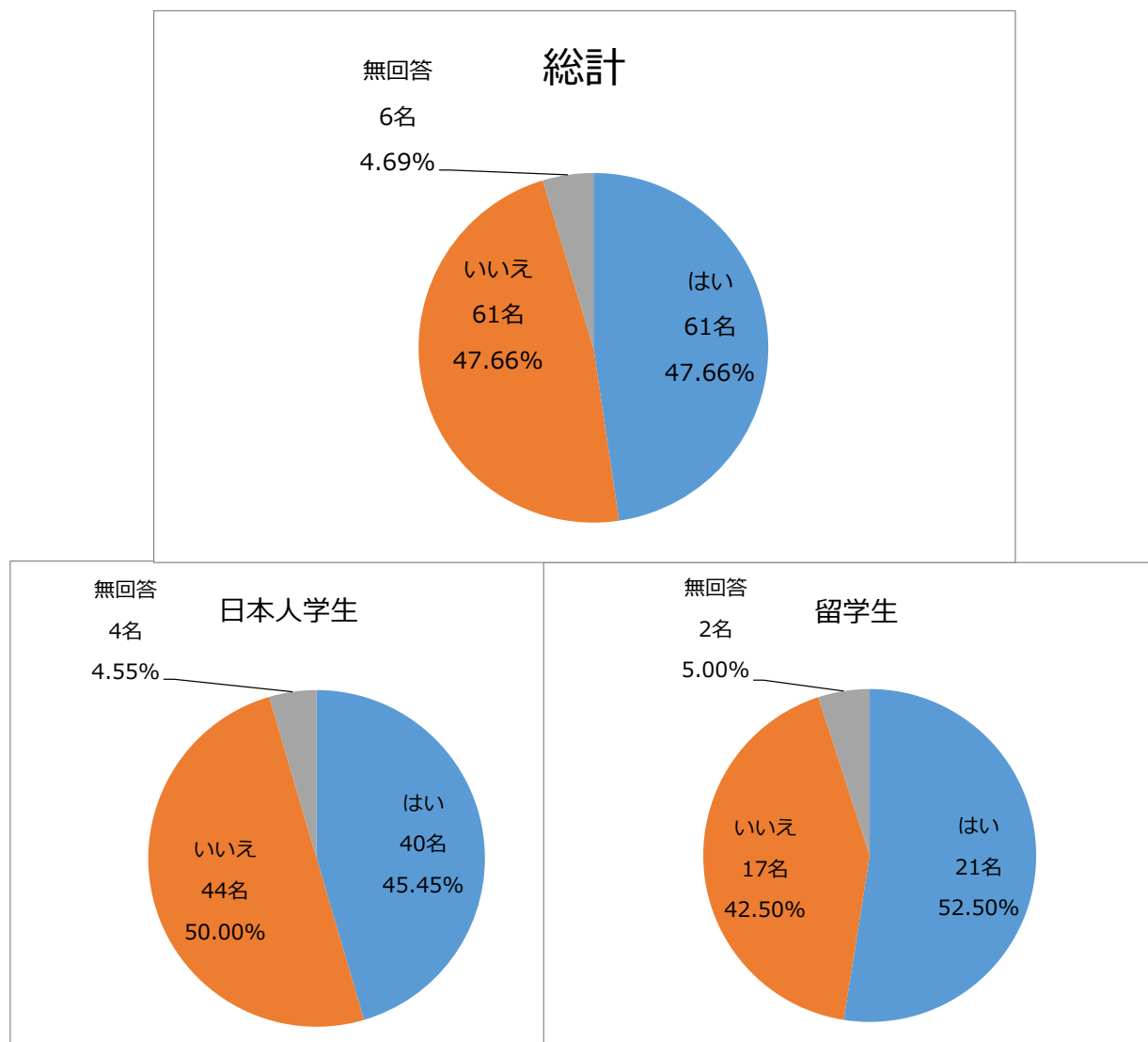
問5. クォーター制及び学外活動に関して

5) 留学などの国際経験をしたことがある

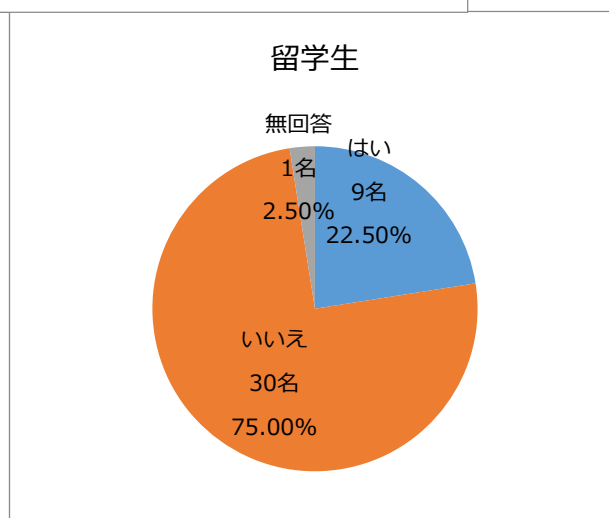
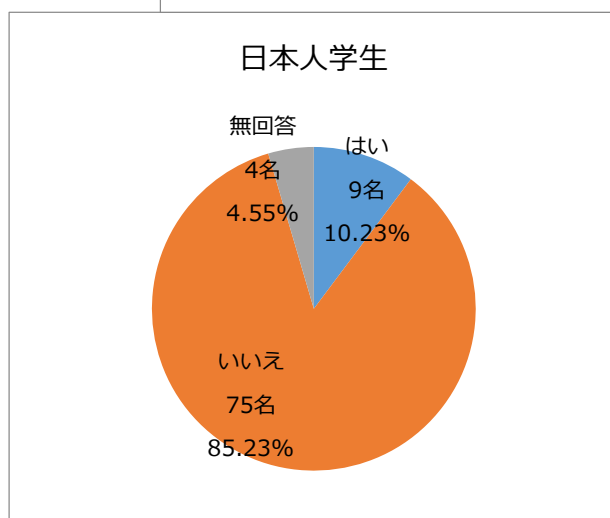
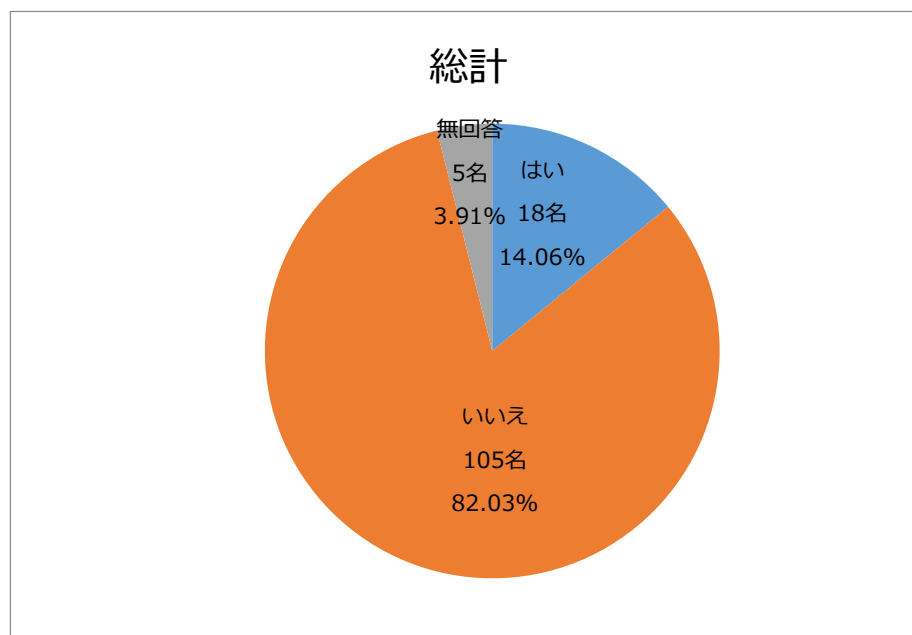


問5. クォーター制及び学外活動に関して

6) インターンシップなど外部機関での活動をしたことがある



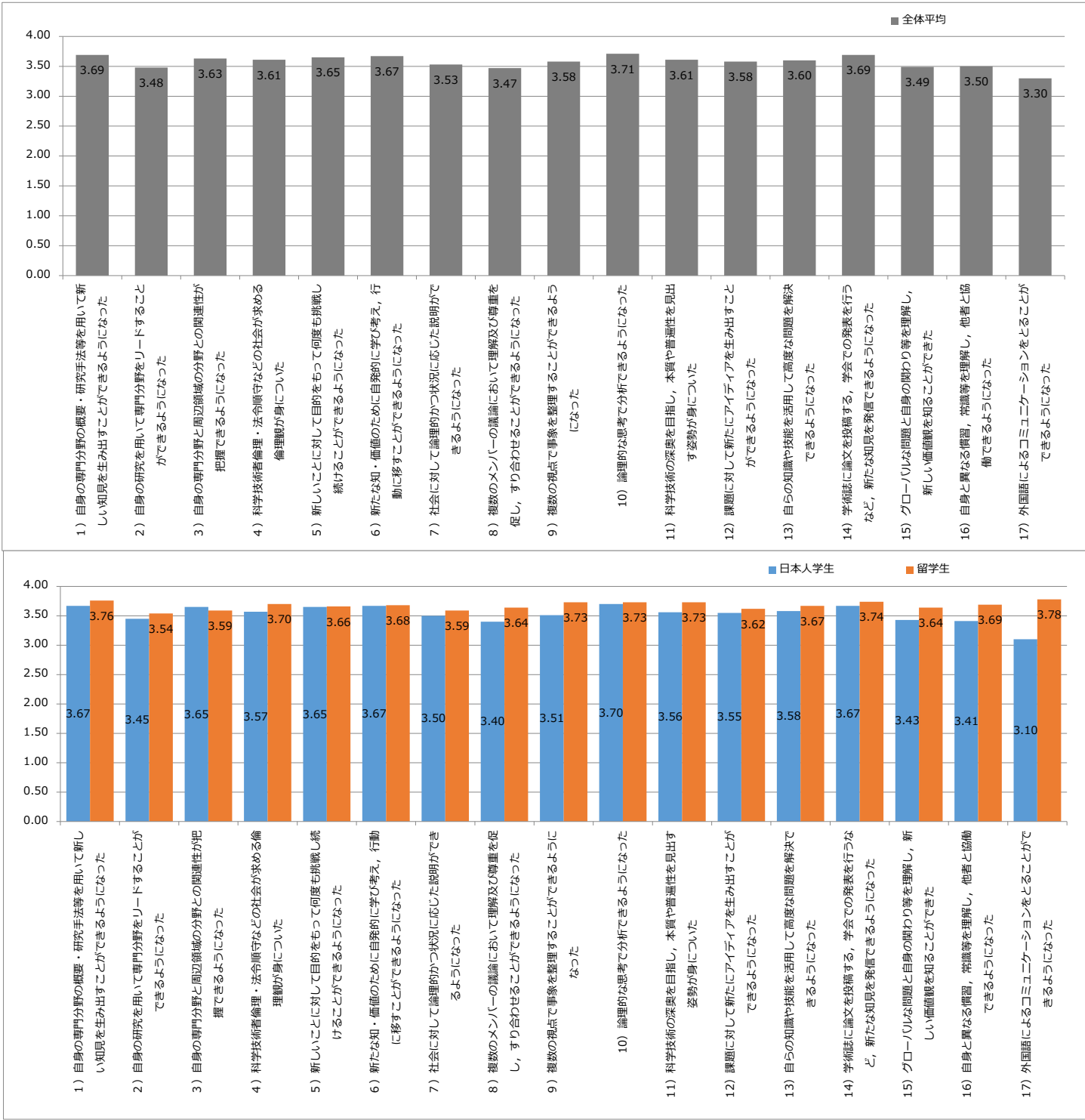
問5. クォーター制及び学外活動に関して
7) ボランティア活動をしたことがある



問6. 現在の課程に入学する前に比べて、できるようになったことについて

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等を用いて新しい知見を生み出すことができるようになった	3.69	3.67	3.76
2) 自身の研究を用いて専門分野をリードすることができるようになった	3.48	3.45	3.54
3) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	3.63	3.65	3.59
4) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	3.61	3.57	3.70
5) 新しいことに対して目的をもって何度も挑戦し続けることができるようになった	3.65	3.65	3.66
6) 新たな知・価値のために自発的に学び考え、行動に移すことができるようになった	3.67	3.67	3.68
7) 社会に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	3.53	3.50	3.59
8) 複数のメンバーの議論において理解及び尊重を促し、すり合わせるできるようになった	3.47	3.40	3.64
9) 複数の視点で事象を整理することができるようになった	3.58	3.51	3.73
10) 論理的な思考で分析できるようになった	3.71	3.70	3.73
11) 科学技術の深奥を目指し、本質や普遍性を見出す姿勢が身についた	3.61	3.56	3.73
12) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	3.58	3.55	3.62
13) 自らの知識や技能を活用して高度な問題を解決できるようになった	3.60	3.58	3.67
14) 学術誌に論文を投稿する、学会での発表を行うなど、新たな知見を発信できるようになった	3.69	3.67	3.74
15) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	3.49	3.43	3.64
16) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.50	3.41	3.69
17) 外国語によるコミュニケーションをとることができるようになった	3.30	3.10	3.78

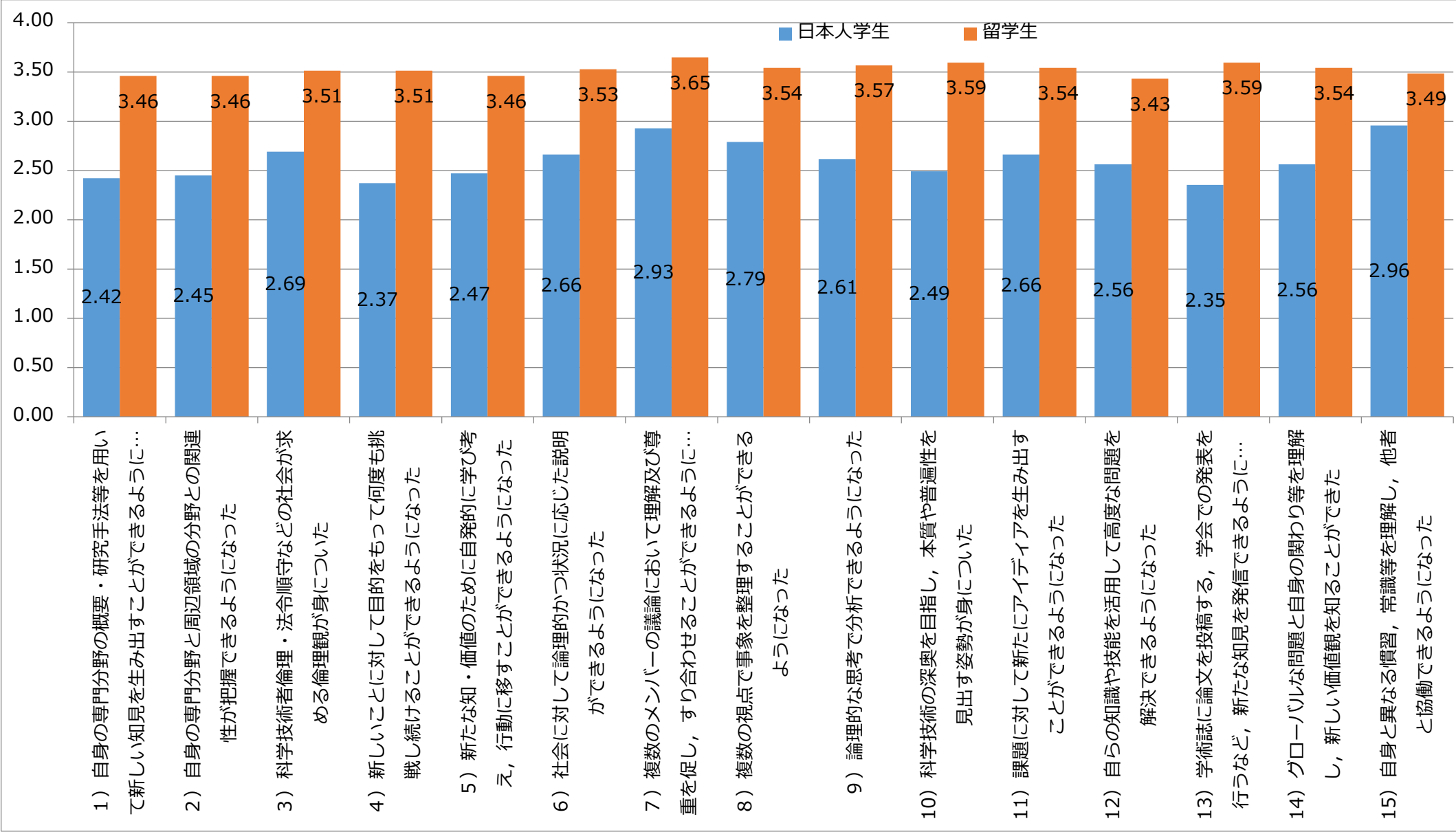
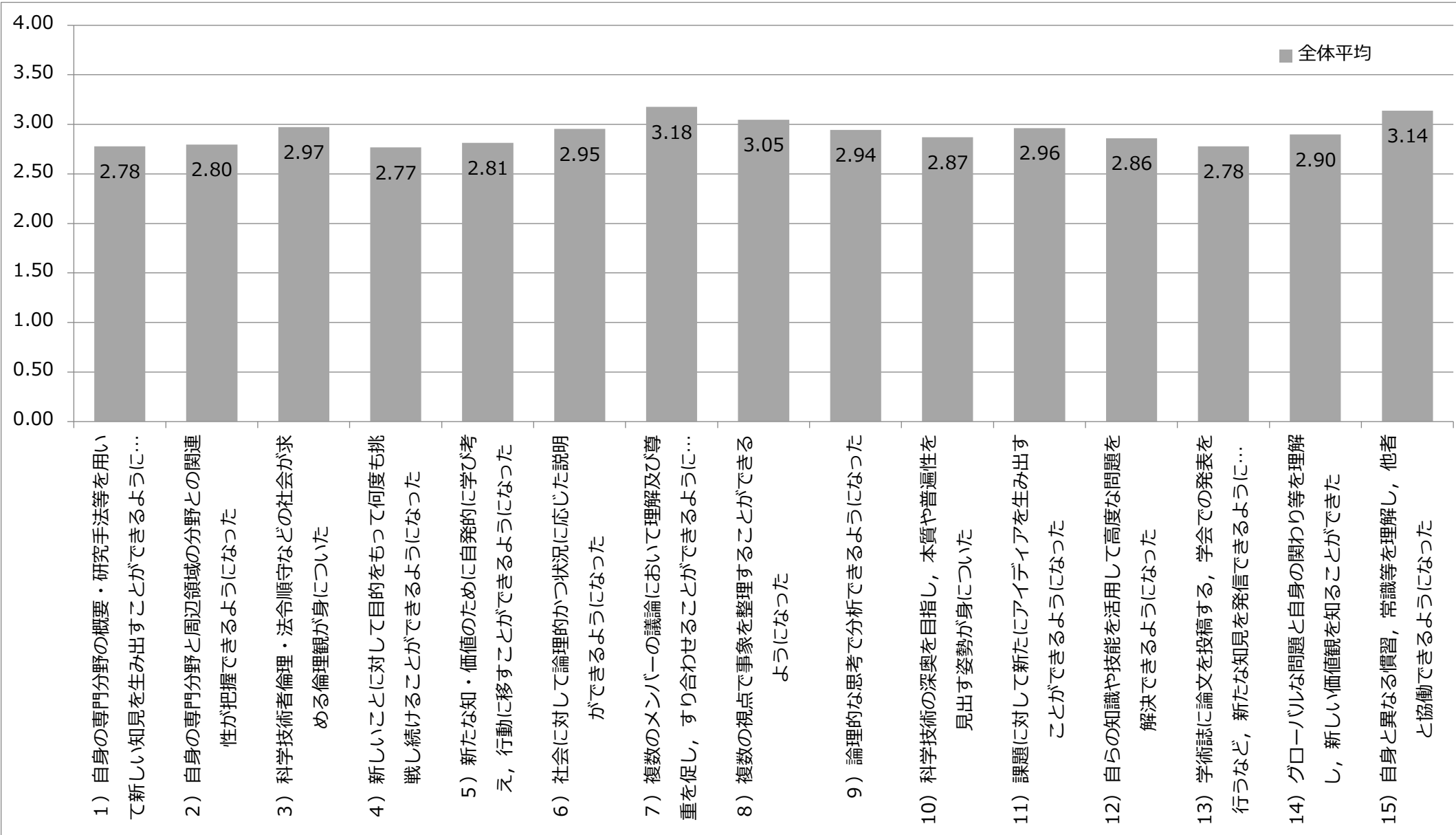
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問7. 博士教養科目（「教養先端科目」、「学生プロデュース科目」）を履修したことは、今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等を用いて新しい知見を生み出すことができたようになった	2.78	2.42	3.46
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	2.80	2.45	3.46
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	2.97	2.69	3.51
4) 新しいことに対して目的をもって何度も挑戦し続けることができたようになった	2.77	2.37	3.51
5) 新たな知・価値のために自発的に学び考え、行動に移すことができたようになった	2.81	2.47	3.46
6) 社会に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	2.95	2.66	3.53
7) 複数のメンバーの議論において理解及び尊重を促し、すり合わせることもできるようになった	3.18	2.93	3.65
8) 複数の視点で事象を整理することができるようになった	3.05	2.79	3.54
9) 論理的な思考で分析できるようになった	2.94	2.61	3.57
10) 科学技術の深奥を目指し、本質や普遍性を見出す姿勢が身についた	2.87	2.49	3.59
11) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができたようになった	2.96	2.66	3.54
12) 自らの知識や技能を活用して高度な問題を解決できるようになった	2.86	2.56	3.43
13) 学術誌に論文を投稿する、学会での発表を行うなど、新たな知見を発信できるようになった	2.78	2.35	3.59
14) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	2.90	2.56	3.54
15) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.14	2.96	3.49

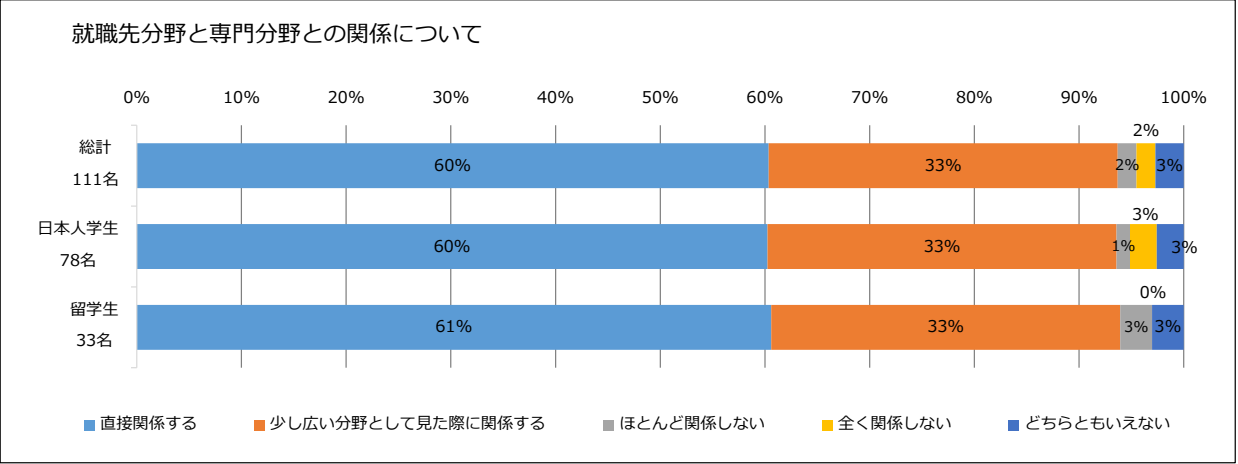
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問8. 就職までに至るまでの状況について

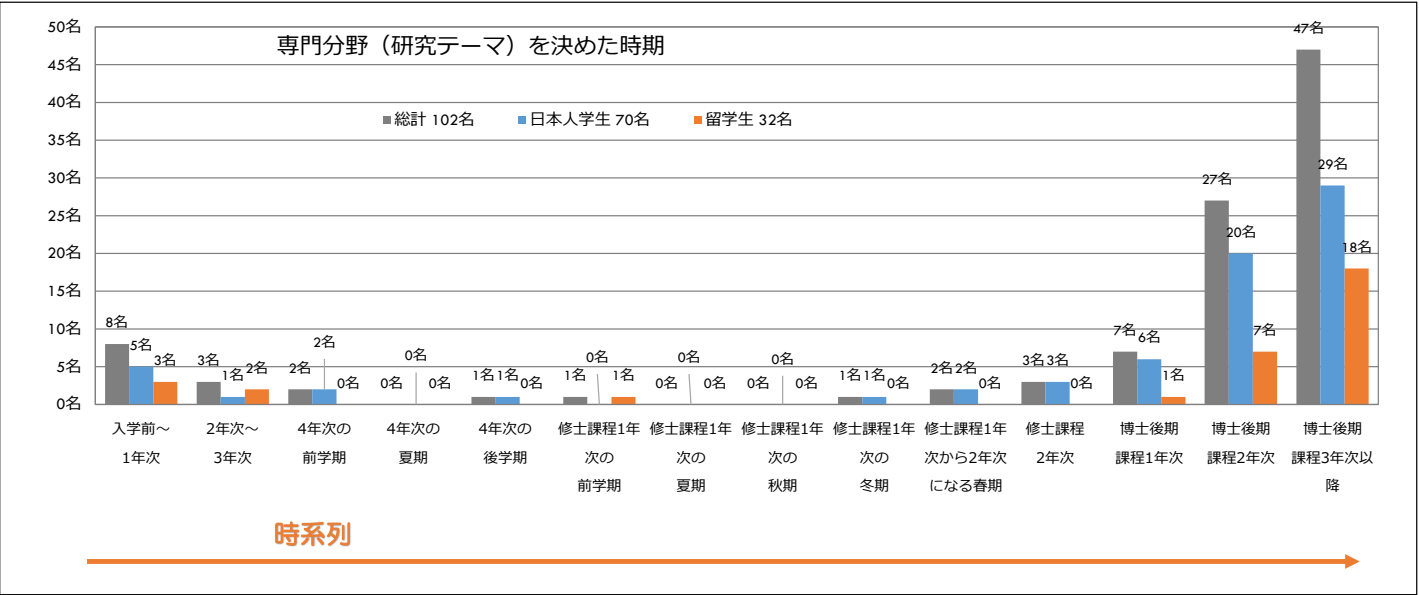
2) 就職先は、学修した専門分野と直接関係する分野ですか。最もふさわしいものを1つ選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
直接関係する	67名	60%	47名	60%	20名	61%
少し広い分野として見た際に関係する	37名	33%	26名	33%	11名	33%
ほとんど関係しない	2名	2%	1名	1%	1名	3%
全く関係しない	2名	2%	2名	3%	0名	0%
どちらともいえない	3名	3%	2名	3%	1名	3%
回答者計	111名	100%	78名	100%	33名	100%
無回答	17名		10名		7名	



4) 現在の就職先を含む業種や企業群等に最終的に絞った時期について最もふさわしいものを1つ選択してください。

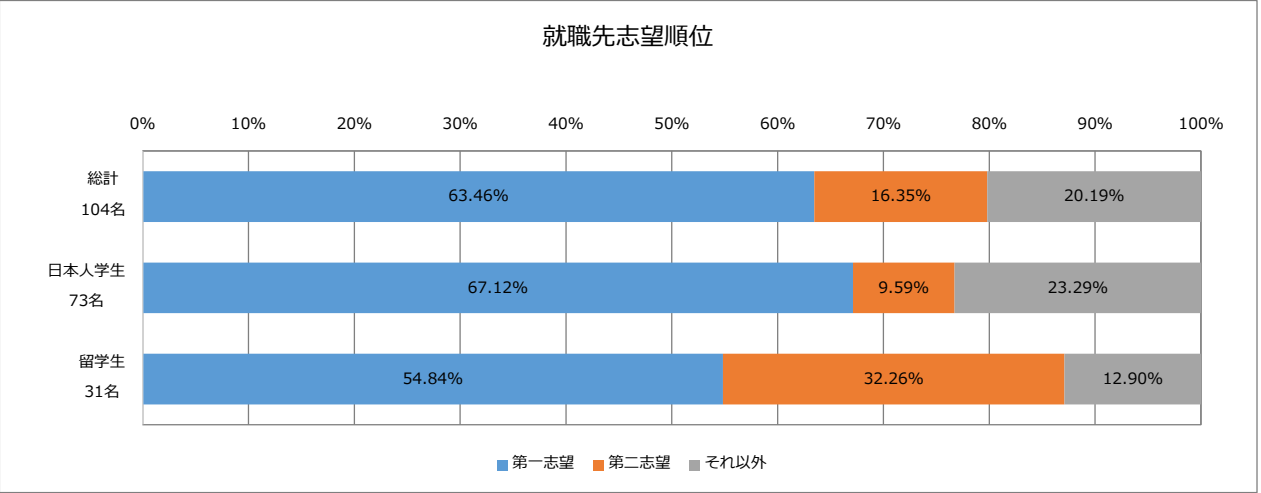
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
入学前～1年次	8名	7.84%	5名	7.14%	3名	9.38%
2年次～3年次	3名	2.94%	1名	1.43%	2名	6.25%
4年次の前学期	2名	1.96%	2名	2.86%	0名	0.00%
4年次の夏期	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
4年次の後学期	1名	0.98%	1名	1.43%	0名	0.00%
修士課程1年次の前学期	1名	0.98%	0名	0.00%	1名	3.13%
修士課程1年次の夏期	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
修士課程1年次の秋期	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
修士課程1年次の冬期	1名	0.98%	1名	1.43%	0名	0.00%
修士課程1年次から2年次になる春期	2名	1.96%	2名	2.86%	0名	0.00%
修士課程2年次	3名	2.94%	3名	4.29%	0名	0.00%
博士後期課程1年次	7名	6.86%	6名	8.57%	1名	3.13%
博士後期課程2年次	27名	26.47%	20名	28.57%	7名	21.88%
博士後期課程3年次以降	47名	46.08%	29名	41.43%	18名	56.25%
回答者計	102名	100.00%	70名	100.00%	32名	100.00%
無回答	26名		18名		8名	



問8. 就職までに至るまでの状況について

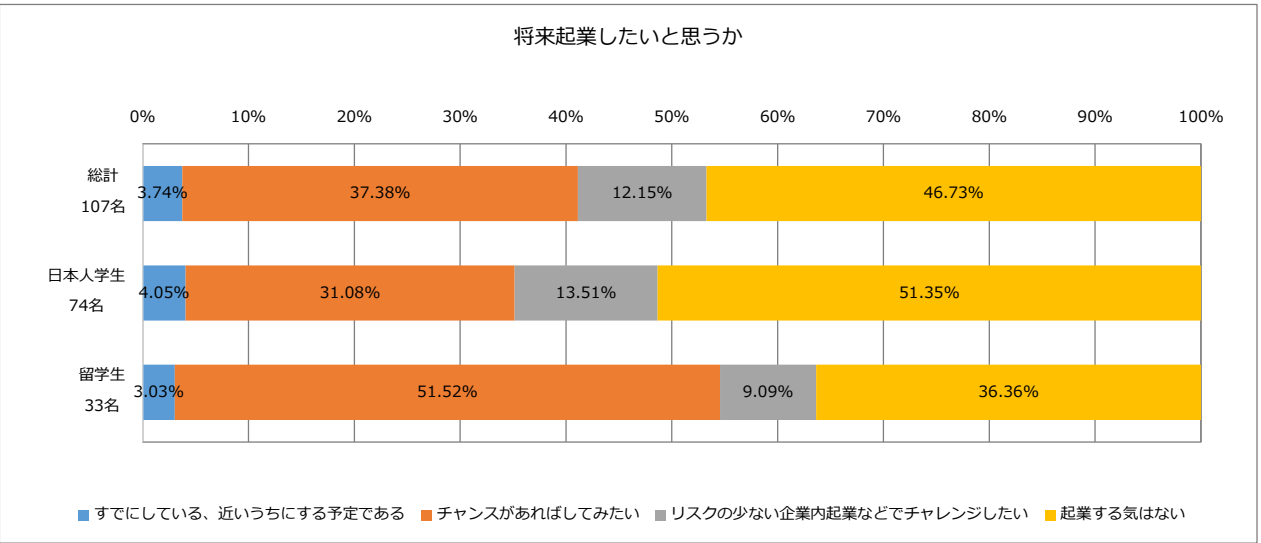
5) 就職先の志望順位について選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
第一志望	66名	63.46%	49名	67.12%	17名	54.84%
第二志望	17名	16.35%	7名	9.59%	10名	32.26%
それ以外	21名	20.19%	17名	23.29%	4名	12.90%
回答者計	104名	100.00%	73名	100.00%	31名	100.00%
無回答	24名		15名		9名	



6) 将来的に起業したいと思いますか。最もふさわしいものを1つ選択ください。

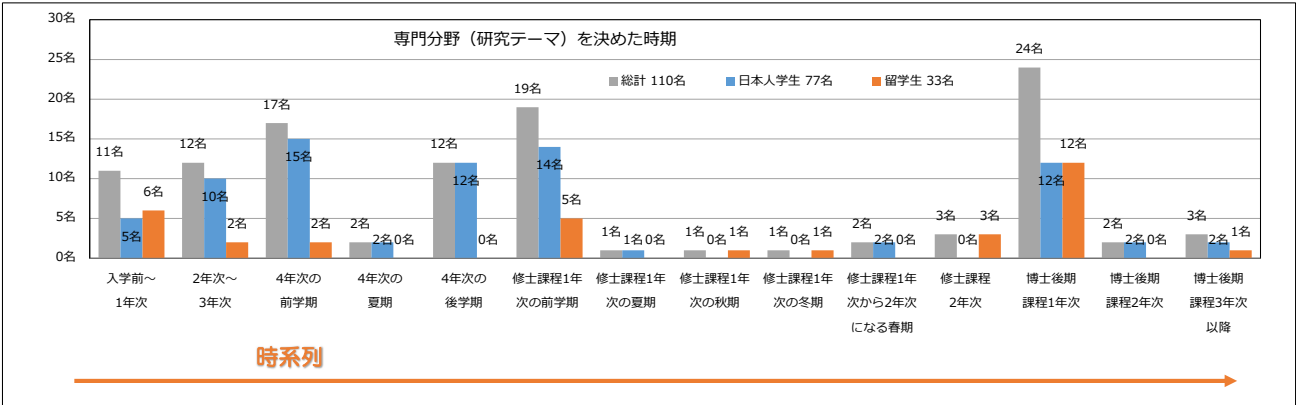
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
すでにしている、近いうちにする予定である	4名	3.74%	3名	4.05%	1名	3.03%
チャンスがあればしてみたい	40名	37.38%	23名	31.08%	17名	51.52%
リスクの少ない企業内起業などでチャレンジしたい	13名	12.15%	10名	13.51%	3名	9.09%
起業する気はない	50名	46.73%	38名	51.35%	12名	36.36%
回答者計	107名	100.00%	74名	100.00%	33名	100.00%
無回答	21名		14名		7名	



※8. 就職までに至るまでの状況について

）いつ頃具体的な専門分野（研究テーマなど）を決めましたか。最もふさわしいものを1つ選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
入学前～1年次	11名	10%	5名	6%	6名	18%
2年次～3年次	12名	11%	10名	13%	2名	6%
4年次の前学期	17名	15%	15名	19%	2名	6%
4年次の夏期	2名	2%	2名	3%	0名	0%
4年次の後学期	12名	11%	12名	16%	0名	0%
修士課程1年次の前学期	19名	17%	14名	18%	5名	15%
修士課程1年次の夏期	1名	1%	1名	1%	0名	0%
修士課程1年次の秋期	1名	1%	0名	0%	1名	3%
修士課程1年次の冬期	1名	1%	0名	0%	1名	3%
修士課程1年次から2年次になる春期	2名	2%	2名	3%	0名	0%
修士課程2年次	3名	3%	0名	0%	3名	9%
博士後期課程1年次	24名	22%	12名	16%	12名	36%
博士後期課程2年次	2名	2%	2名	3%	0名	0%
博士後期課程3年次以降	3名	3%	2名	3%	1名	3%
回答者計	110名	100%	77名	100%	33名	100%
無回答	18名		11名		7名	

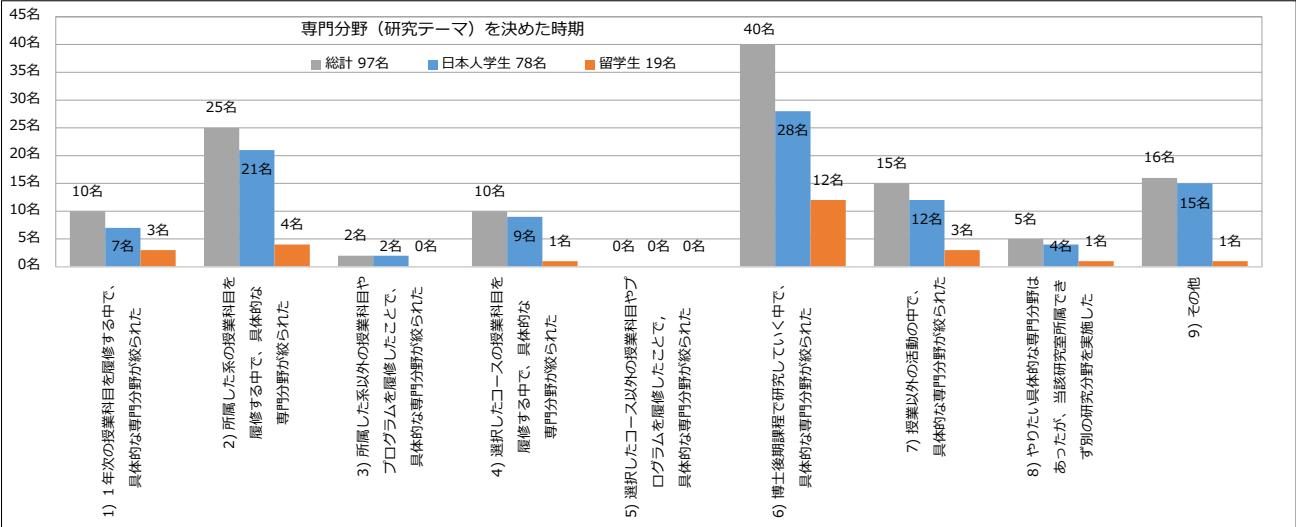


）具体的な専門分野(研究テーマなど)をどのように絞っていきましたか。最もふさわしいものを2つまで選択してください。（複数回答）

（他大学から本学に入学された学生へ：系は学科相当、コースは専攻に読み替えて回答ください。）

問8-8) の回答学生数	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 1年次の授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	10名	10.31%	7名	8.97%	3名	15.79%
2) 所属した系の授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	25名	25.77%	21名	26.92%	4名	21.05%
3) 所属した系以外の授業科目やプログラムを履修したことで、具体的な専門分野が絞られた	2名	2.06%	2名	2.56%	0名	0.00%
4) 選択したコースの授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	10名	10.31%	9名	11.54%	1名	5.26%
5) 選択したコース以外の授業科目やプログラムを履修したことで、具体的な専門分野が絞られた	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
6) 博士後期課程で研究していく中で、具体的な専門分野が絞られた	40名	41.24%	28名	35.90%	12名	63.16%
7) 授業以外の活動の中で、具体的な専門分野が絞られた	15名	15.46%	12名	15.38%	3名	15.79%
8) やりたい具体的な専門分野はあったが、当該研究室所属できず別の研究分野を実施した	5名	5.15%	4名	5.13%	1名	5.26%
9) その他	16名	16.49%	15名	19.23%	1名	5.26%

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

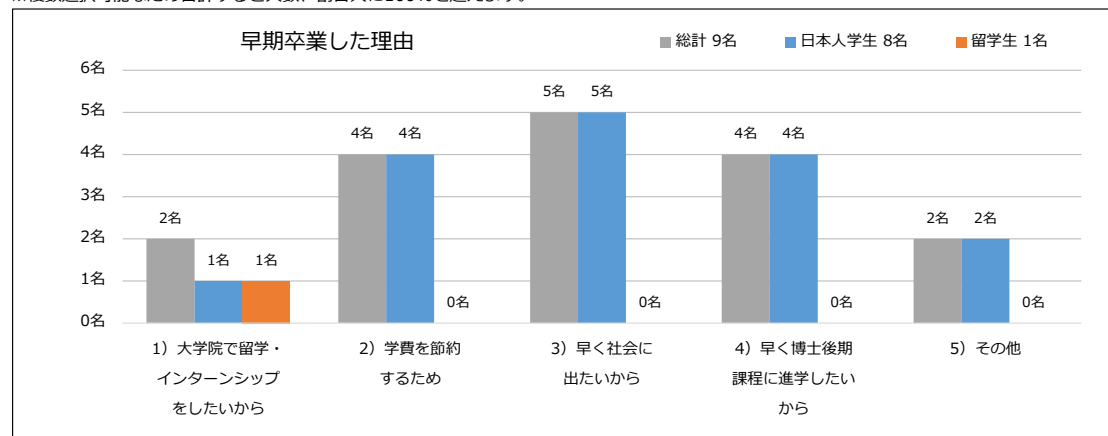


問8 就職までに至るまでの状況について

9) 早期卒業した方は、その理由を選択してください。（複数回答可）

	総計		日本人学生		留学生	
問8-9) の回答学生数	9名		8名		1名	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 大学院で留学・インターンシップをしたいから	2名	22.22%	1名	12.50%	1名	100.00%
2) 学費を節約するため	4名	44.44%	4名	50.00%	0名	0.00%
3) 早く社会に出たいから	5名	55.56%	5名	62.50%	0名	0.00%
4) 早く博士後期課程に進学したいから	4名	44.44%	4名	50.00%	0名	0.00%
5) その他	2名	22.22%	2名	25.00%	0名	0.00%

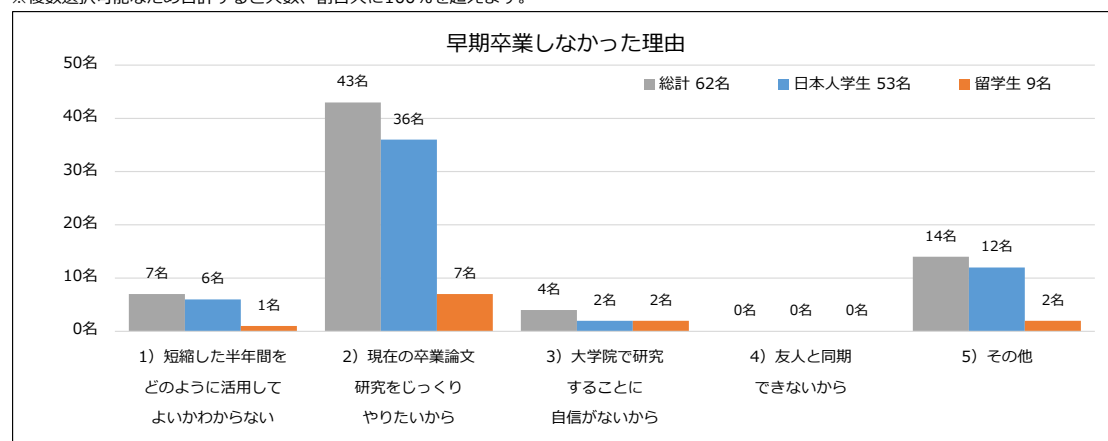
※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。



10) 早期卒業をしなかった方は、その理由を選択してください。（複数回答可）

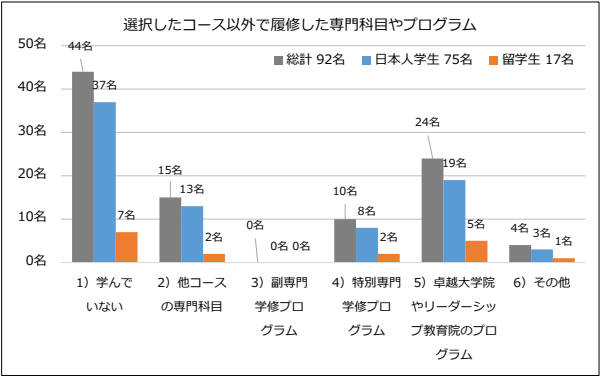
	総計		日本人学生		留学生	
問8-10) の回答学生数	62名		53名		9名	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 短縮した半年間をどのように活用してよいかわからない	7名	11.29%	6名	11.32%	1名	11.11%
2) 現在の卒業論文研究をじっくりやりたいから	43名	69.35%	36名	67.92%	7名	77.78%
3) 大学院で研究することに自信がないから	4名	6.45%	2名	3.77%	2名	22.22%
4) 友人と同期できないから	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
5) その他	14名	22.58%	12名	22.64%	2名	22.22%

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。



問8 就職までに至るまでの状況について

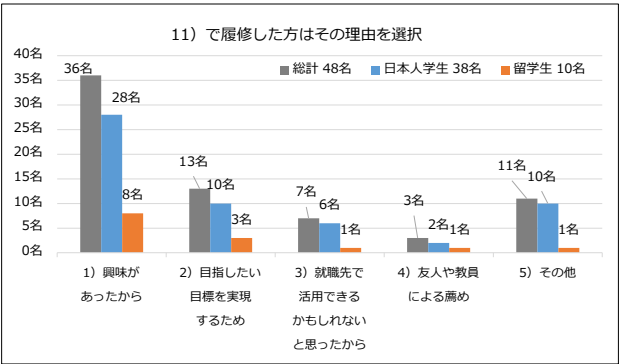
11) 選択したコースのカリキュラム以外（文系教養科目、キャリア科目を除く）で履修した専門科目やプログラムを選択してください。（複数回答可）



	総計		日本人学生		留学生	
回答した学生数	92	100%	75	100%	17	100%
選択肢	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 学んでいない	44名	48%	37名	49%	7名	41%
2) 他コースの専門科目	15名	16%	13名	17%	2名	12%
3) 副専門学修プログラム	0名	0%	0名	0%	0名	0%
4) 特別専門学修プログラム	10名	11%	8名	11%	2名	12%
5) 卓越大学院やリーダーシップ教育院のプログラム	24名	26%	19名	25%	5名	29%
6) その他	4名	4%	3名	4%	1名	6%

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

12) 11)で履修した方は、その理由を選択してください。（複数回答可）



	総計		日本人学生		留学生	
回答した学生数	48	100%	38	100%	10	100%
選択肢	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 興味があったから	36名	75%	28名	74%	8名	80%
2) 目指したい目標を実現するため	13名	27%	10名	26%	3名	30%
3) 就職先で活用できるかもしれないと思ったから	7名	15%	6名	16%	1名	10%
4) 友人や教員による薦め	3名	6%	2名	5%	1名	10%
5) その他	11名	23%	10名	26%	1名	10%

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

13) 11)で履修した方は、将来、本学修が役に立つと思うか否かについて選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
強くそう思う	26名	46%	17名	45%	9名	47%
そう思う	22名	39%	14名	37%	8名	42%
そう思わない	4名	7%	2名	5%	2名	11%
全く思わない	1名	2%	1名	3%	0名	0%
どちらともいえない	4名	7%	4名	11%	0名	0%
回答者計	57名	100%	38名	100%	19名	100%

